

桑名市行政改革推進委員会 会議概要（抜粋）

日時・場所	令和5年7月13日(木) 13:00～15:00 桑名市役所 3階第2会議室
出席者	委員：6名 市：15名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 副市長挨拶 2 委員挨拶 <ul style="list-style-type: none"> (1) 委員長及び副委員長の互選について 3 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 企業誘致ビジョンの策定に向けて (2) 人口減少対策パッケージ14万リバウンドプラン ～若者の声を聞く～（公民連携の取組み） (3) 書かないワンストップ窓口推進事業について (4) 公共施設マネジメントの取組みについて 4 その他
概要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> 1 副市長挨拶 <p>本日は行政改革推進委員会の皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。また、委員の任期満了に伴う更新にご協力いただき感謝申し上げます。新任の井上委員のご就任を歓迎します。</p> <p>本日の主な議題は4点、1企業誘致、2人口減少対策、3書かないワンストップ窓口、4公共施設マネジメントです。</p> <p>特に人口減少と公共施設の老朽化が喫緊の課題である。小中学校の建替えも待たなしの状況であり、企業誘致で雇用を創出し、人口減少対策と合わせて取り組みたいと考えている。</p> <p>DX/GXへの対応や民間提案による公共施設の複合化など、皆様の忌憚のないご意見をいただき、桑名市の発展に活かしたいと思う。</p> 2 委員挨拶 <ul style="list-style-type: none"> (1) 委員長及び副委員長の互選について 委員長には丸山康人委員、副委員長には野崎敏彦委員が選任された。 3 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 企業誘致ビジョンの策定に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・不交付団体となるためには約67.5億円の増収が必要となってくるとのことだが、件数ないしは、どれぐらいの期間で実現可能なのか。今年活動を教えて頂きたい。 ◆多度の南部の固定資産税収入が10億円から11億円で、この既存の工業団地が約200ヘクタール。税収の大きな企業・産業を誘致したいという思いが強くある。具体的にどれぐらいの時期に実現できるかといったゴールは設定できていない状況。 ・企業誘致で、桑名市のベンチマークとしている企業や町はどういったところがあるか。 ◆県内だと少し前に亀山市がシャープを誘致したという基準モデルがある。近年では国策でも企業誘致をしているが、規模が大きいためそのまま参考にはできない。企業誘致後のフォローであったり、従業員・家族の方へのフォローなどを手厚くしながら、企業誘致を進めていきたいと考えている。

・どのように企業誘致をされているか。企業に出向くこともあるのか。
◆4月から百五銀行をはじめ、市内の金融機関や多度地区の進出企業等を訪問している。4月以降は100件ほど営業活動を行っている。

・去年までの営業活動経過および桑名市の課題認識を伺いたい。そして、固定資産税の収入以外の収入源を考えている場合は教えていただきたい。また、桑名市をプロモーションする活動として企業誘致専門のオフィシャルサイトの作成や、行動経済学で“ウィンザー効果”と言われるロコミの利用、あとはブランディングや周知で日経ビジネスの取材を受けたり記事が載るような取り組みなど、見せ方を考えていくことによって、何かが変わるのではないかと思う。

◆昨年までの活動としてはおよそ20件程度で、昨年は少なく2件となっている。課題認識としては人口減少対策であり、企業誘致を行って企業と一緒に従業員の方に来ていただく、働く世代に住んでいただくというような効果を期待している。オフィシャルサイトの作成について意見をいただいたが、準備をしており、ぜひ進めていきたいと考えている。そして、ロコミをしていただきやすい取り組みとしては、訪問先の企業で桑名市の魅力をお伝えし、その方々に横の繋がりで発信していただけるよう、今後もさらに営業活動に励みたいと思う。

・企業の一番の困りごとに人材採用、特に外国人人材を採用しないといけないと思うことがあると思う。

◆四日市の企業誘致の状況でも、様々な良い部分・悪い部分あると聞いているが、その辺の実例も踏まえて、桑名市がどのようにしていくのがよいか、注意していくべき点などアドバイス等いただきたい。

・四日市のキオクシアのような大きな企業は、桑名市のイメージとは違うかと思う。桑名市という土地のイメージから、定着してくれるような企業を選んでいかないといけない。

◆業種業態にもよるが、業者を限定して誘致することは非常に危うい。限定するのであれば、取引先が多々ある業種など、そのような視点が大事かと思う。

・島根県のホームページ見ると島根県がビジネスパートナーですと書いてあり、「企業と県と一緒にビジネスを仕掛ける」という視点が前面に出ている。桑名市も“一緒にビジネスができる”ということを出すことで「企業と一緒に成長して行く」といった姿勢が伝わるのではないか。

(2) 人口減少対策パッケージ14万リバウンドプラン

～若者の声を聞く～（公民連携の取組み）

・そもそも結婚したい人たちがいるのかどうかということも言われている。富田林市には4つの賞を受賞している市営住宅、名古屋には100人以上の若者が住んでいるシェアハウスがあり、一つの視点として、市内に魅力的な住まいを用意するということは行政としてできるのかなと思う。

◆統計調査によると、「結婚したい」「いずれ結婚をするつもり」と考えている人は8割ほどいる。移住支援については、今年度4月から拡充しており、転入等をされた方に対して、基本額60万円、最大100万円の支援事業を行っている。

・マッチングアプリで結婚した場合の特典はあるか。

◆現在検討中。マッチングアプリで結婚された場合のお祝い金や、住宅手当など次に繋がっていく策は一つの方策だと思う。

・そこに住む、移住する場合、良い教育と安全であること、特に安全ということが移住する必須項目である。陵成・光陵あたりは三重県でも屈指の優秀な中学校で、そこに入学するために急いで住宅を買って移り住んだという時期があったと思う。親はそれぐらい教育に対して真剣。日本一の中学教育があるといった地域

<p>のブランドのような、PRできるものが必要。</p> <ul style="list-style-type: none">・アプリに登録されてる人数と目標値があれば伺いたい。◆登録者数はマッチングアプリの事業所でしかわからないが、三重県については、ペアーズのイベント前後の伸び率について全国的にもかなり高い伸び率だと聞いている。行政が関与することが安心感として利用促進に繋がったのではないかと考えている。 <p>(3) 書かないワンストップ窓口推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・窓口手続きに行った際、1回目と2回目で同じ話をしたことがある。1回目手続き時の履歴みたいなものを取り2回目の時に同じ話をしなくてもいいようにすることは系統的に可能か。◆1回切りが前提となっている手続きなどでは申し送りのようなものはない部署が多いかと思う。しかし相談窓口では相談記録を取っているところがほとんどであり対応は可能だと思う。・マイナンバーの紐付けなどがあれば教えていただきたい。◆マイナンバーカードを読み込めばそのデータを基にして申請書を作るなど、可能であれば取り入れたいと思う。・メモなどストックしてしまうと個人情報の問題が気になる。担当者が変更になった際などどのように扱うのか。◆基本的に個人情報や機密情報などは、担当者以外が見たり使用したりできないよう条例上の縛りがあり、個人情報の漏えいなどを防ぐ手立てをとっている。適正に扱うよう研修を行っていきたい。 <p>(4) 公共施設マネジメントの取り組みについて 非公開にて審議</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--